

当院にて内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した Barrett 食道腺癌の臨床病理学的検討

1. 研究の対象

2010 年 4 月から 2022 年 3 月の期間、当院において内視鏡的粘膜下層剥離術が施行された表在型バレット食道腺癌の症例, 17 例.

2. 研究目的・方法

バレット食道腺癌は主に欧米に多いとされる疾患ですが, 近年では本邦でもバレット食道腺癌が増加傾向であることが指摘されており, バレット食道はその前癌病変として重要です. 内視鏡的粘膜下層剥離術が施行された症例を臨床病理組織学的に検討, それらの特徴を明らかにすることで, 病変の拾い上げに有用な知見を得ることができると考えられます. 秋田大学医学部附属病院の電子カルテを用いて仮名加工情報化したデータを抽出し, 解析・検討を行います.

研究実施期間: 研究実施許可日～2024 年 6 月 30 日

3. 研究に用いる情報の種類

一般情報:

以下の項目について, 電子カルテのデータベースから匿名化して抽出します.

- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ ヘリコバクター・ピロリ菌感染の状態 (未感染, 除菌後, 現感染)
- ・ 内視鏡的粘膜下層剥離術後の病理組織学的所見 (腫瘍径, 深達度, 組織型)
- ・ 追加外科切除の有無について

内視鏡写真の再判定:

以下の項目について再判定します.

- ・ 逆流性食道炎
- ・ 食道裂孔ヘルニア
- ・ バレット食道
- ・ 萎縮性胃炎
- ・ バレット食道腺癌の肉眼的所見 (肉眼型, 発赤有無)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学大学院医学系研究科

腫瘍制御医学系 消化器内科・神経内科学講座

研究責任者 児玉 崇

〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1

電話番号：018-884-6104（消化器内科・神経内科学講座医局）

FAX 番号：018-836-2611（消化器内科・神経内科学講座医局）

-----以上